

平成23年度特別選抜方法等（推薦入試）

県立広島大学

実施学部名	生命環境学部														
実施学科名	生命科学科	環境科学科													
募集人員	44人 〔内訳：県内高等学校等推薦 20人 内訳：県内専門高等学校等推薦 4人 内訳：全国高等学校等推薦 20人〕	22人 〔内訳：県内高等学校等推薦 10人 内訳：県内専門高等学校等推薦 3人 内訳：全国高等学校等推薦 9人〕													
出願要件	<p>出願する者は、次の各号のいずれにも該当する必要があります。</p> <p>1 次のいずれかに該当する者のうち、次表の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。(生命科学科、環境科学科共通)</p> <p>(1) 平成22年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は平成23年3月31日までにこれを卒業する見込みである者</p> <p>(2) 平成22年4月1日以降に高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成23年3月31日までにこれらを修了する見込みである者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>募集区分</th> <th>要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内高等学校等推薦</td> <td>広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者</td> </tr> <tr> <td>県内専門高等学校等推薦</td> <td>次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者</td> </tr> <tr> <td>全国高等学校等推薦</td> <td>次のいずれかに該当する者 1 高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。</p> <p>3 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。</p>		募集区分	要件	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者	県内専門高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者	全国高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者					
募集区分	要件														
県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者														
県内専門高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者														
全国高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者														
推薦人員	<p>【生命科学科】 募集区分ごとに、1学校当たり2人まで（ただし、4人を上限とする。）</p> <p>【環境科学科】 募集区分ごとに、1学校当たり2人まで（ただし、4人を上限とする。）</p>														
選抜方法等	<p>1 選抜方法 平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除して、学業成績等、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。</p> <p>2 小論文及び面接の内容並びに採点・評価の基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 科</th> <th colspan="2">小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">生 命 科 学 科</td> <td>小論文</td> <td>生命科学や環境科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。 なお、英文の資料を用いることがあります。(注)参照</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>生命科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">環 境 科 学 科</td> <td>小論文</td> <td>生命科学や環境科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。 なお、英文の資料を用いることがあります。(注)参照</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>環境科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。</td> </tr> </tbody> </table>		学 科	小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準		生 命 科 学 科	小論文	生命科学や環境科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。 なお、英文の資料を用いることがあります。(注)参照	面接	生命科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	環 境 科 学 科	小論文	生命科学や環境科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。 なお、英文の資料を用いることがあります。(注)参照	面接	環境科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
学 科	小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準														
生 命 科 学 科	小論文	生命科学や環境科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。 なお、英文の資料を用いることがあります。(注)参照													
	面接	生命科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。													
環 境 科 学 科	小論文	生命科学や環境科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。 なお、英文の資料を用いることがあります。(注)参照													
	面接	環境科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。													
合否判定基準	小論文及び面接の得点と、学業成績等の内容を総合して合否を判定します。														
出願期間	平成22年11月4日(木)～11月11日(木)														
選抜期日	平成22年11月26日(金)														
合格発表日	平成22年12月9日(木)														

(注) 英文による長文読解及び英文による設問を課すものではなく、専門用語等には必要に応じて和訳を付すなど、高等学校教育で十分対応可能な内容を予定しています。